

第2号様式（第3関係）

令和元年度春日井市民病院事業評価委員会議事録

- 1 開催日時 令和元年10月10日（木）午後3時～午後4時
- 2 開催場所 春日井市民病院3階 講堂
- 3 出席者
  - 【会長】 春日井市子ども会育成連絡協議会 名誉会長 中村 重和
  - 【副会長】 春日井市老人クラブ連合会 会長 高塚 徳夫
  - 【委員】 春日井市医師会 理事 塚本 恵
  - 春日井市薬剤師会 会長 林 きよみ
  - 春日井市婦人会協議会 副会長 横井 広美
  - 税理士 安藤 宣貴
  - 春日井市健康福祉部 部長 山口 剛典
  - 【事務局】 春日井市民病院 院長 成瀬 友彦
  - 看護局長 上村 睦美
  - 看護局副局長 根岸 かほり
  - 事務局長 丹羽 教修
  - 管理課長 橋本 健
  - 医事課長 兒島 康万
  - 管理課長補佐 宮崎 聡子
  - 管理課長補佐 西川 和範
  - 医事課長補佐 越 統靖
  - 医療連携室主査 高村 健次
  - 管理課主査 亀谷 信義
- 4 傍聴者 なし

## 5 議題

- (1) 平成30年度第2次春日井市民病院中期経営計画〔改定版〕の事業報告について
- (2) その他

## 6 会議資料

- 資料1 春日井市民病院事業評価委員会名簿
- 資料2 春日井市民病院事業評価委員会規則
- 資料3 平成30年度第2次春日井市民病院中期経営計画事業報告書

## 7 議事内容

- (1) 委嘱状及び辞令の交付について

院長から出席委員に対し、委嘱状及び辞令の交付を行った。

- (2) 会長、副会長の選出について

委員の互選により、会長及び副会長の選出を行い、会長に中村重和委員、副会長に高塚徳夫委員が選出された。

- (3) 会議の公開等の確認について

会議は公開とし、議事録は「要点筆記」で作成し、会長及び副会長が確認・署名することを確認した。

- (4) 平成30年度第2次春日井市民病院中期経営計画〔改定版〕の事業報告について

**【橋本課長】** (資料3に基づき説明)

**【安藤委員】** 資料19ページ、20ページの「第6節 中期経営計画体系別実施結果一覧」についてです。長期経営計画について、令和2年度までに実行すること、取り組むこととされている具体的取組につきまして、3年連続で「実施に向けて検討・継続中」というところが、4項目あります。来年度が計画の最終年度という中で、どこまで進んでいて、令和2年度までに実行できるよう検討しているのかどうか、又は既に実行されたのか。お聞かせください。

**【成瀬院長】** おっしゃるように、計画は今年度を含めてあと2年間です。脳卒中センターの強化に関しては、新聞でも発表させていただきましたが、この9月からSCU、脳卒中センターとして認められまして、

脳神経外科又は脳神経内科の医師が毎日24時間体制で常駐しておりますので、かなり実行できているように思います。

一方で、心臓病センターは長年の課題です。当院は、新築移転後20年経つのですが、移転してから、医師だけでも50人程度増えて手狭になっています。かつて心臓外科医師が心臓病センターを作りたいという計画を出していたのですが来年度までの実施は難しい状況です。一つ目の理由として院内に適当な場所がないこと、二つ目の理由として、心臓外科医師が、過去5年ほど不在であることが挙げられます。とくに心臓外科医師の不在については、大学医局に要請しているのですが、なかなか派遣していただけていません。

その他の災害時の計画や病床機能の検討等につきましては、厚生労働省から2024年までに病床の見直しをするよう指示が出ています。先日、全国424の病院が実名で改善しなさいと公表されました。当院でも、2025年以降、患者数が減少していくという予測がありますので、4年前の平成27年度の段階で想定していた病床機能の検討だけでは済まないのではないかとということで、こちらも「実施済」は難しいのではと思います。したがって、5年間で計画したことが時の経過とともに実施できなくなってきたものがあるのは事実です。

**【安藤委員】** 私は税理士なので、クライアントの経営会議にも参加するのですが、なぜできないのかという理由は、どんな企業でもあります。その中で、現場として実施できない理由が、本当にできないのか、どのようにすればできるのか、又は、そもそも計画が間違っていたかということを見直ししていただければと思います。その結果、計画の取下げもあり得ることですし、成果が見える形にした方がいいと思います。

**【成瀬院長】** 小児周産期については、小児の集中治療室NICUというものがあるのですが、小牧市民病院や陶生病院が設置していますので、当院も設置を検討しました。日本では少子化がずっと続いていて、出産数自体も減っていますし、また、民間の病院に産科に特化した非常にサービスも良くて、きれいで快適な環境のところが多くあります。公立病院での出産が少なくなっている状況において、5年

前はこの小児周産期を充実させようと考えていたのですが、やはり予算と人と、それに見合うだけの需要が5年後にあるのかどうかは少し疑問だと思います。実現可能性がないことを挙げるのは適切ではないと思いますので、次回の計画の策定時にどのように計画に入れるのか検討したいと思います。ありがとうございました。

**【塚本委員】** 資料19ページの「災害時にかかる計画などの見直し」は、現在どういう状況ですか。

**【橋本課長】** 計画には二つあります。一つ目は、BCPという災害時にどの業務を優先するのかという春日井市全体で取り組んでいるもの、二つ目は、大規模災害が起こったときに、どのような体制で対策をしていくのかというもので、一つ目のBCPは、平成30年4月に改定をしており、こちらは出来ております。二つ目は、今のものはあるのですが、見直しを進めております。ただ、近年、大規模災害が続きました。国が求める基準も様々に変わってきています。災害拠点病院に当院も指定されているのですが、たとえば、備蓄について、水が何日分必要だとか食糧を何日分確保しておきなさいというような基準も変わりつつありますので、国の動向を踏まえながら今後も引き続き検討していきたいと思っております。

**【成瀬院長】** 補足しますと、BCPについては、私も委員として関わって、昨年これで「実施済」になるかなと思っておりました。ご存知のとおり最近の災害で、千葉の停電がありました。実は先日当院に雷が落ちて、電子カルテシステムの動作に不具合が出ました。医療機器も、重要なものは停電時にも動作するようにしてあったのですが、その中でも不具合があることが分かってきました。例年の防災訓練では大規模災害を想定した実地訓練を行っているのですが、電源が落ちた状況でどの医療機器が動作しないのかという確認を実施していませんでした。今年の災害、千葉のケースを見ても、電源が喪失したときに当院は果たして患者の生命を守るために十分な機能があるかどうか確認する必要がありますので、今月27日の防災訓練で確認します。これは「実施に向けて検討・継続中」になっています。災害対策に関しては、どこまで実施しても「実施済」にならないと思います。対策が不十分な事項も出てくるかもしれませんが、他の

地域の災害状況を参考にしながら練り直している状況です。

【林委員】 市民病院の計画を伺いまして、やはり災害時だと物の供給が非常に求められます。先日、防災の会議にも出席しましたが、薬剤師会として検討していることがあるので、ぜひとも関係をとってやっていけるといいと思います。オムツなども医療に必要なものだと思います。春日井市からの要請で、各薬局で備蓄しておりますので、それらを災害時に抛出するという形をとっています。

【成瀬院長】 当院の薬局との災害時の連携は。

【林委員】 災害に対しては連携していません。覚書まではいかないですが、小牧市民病院と春日井市民病院との間に災害時にお薬手帳の提示があればいつものお薬の供給は受けられるという取決めがあります。当薬剤師会の塚本副会長が継続して話合いをしています。薬剤師会としては、春日井市内のドラッグストアに声をかけて、災害時の連絡網の作成をしていきたいと考えています。

千葉の状況を見ますと、やはり皆さん日常の生活を求められるととても追いつくものではないのですが、最低限の備えはできていると思います。

【成瀬院長】 愛知県内の公立病院の状況を見てみますと、たとえば県南部の海岸に近くに位置する病院は、病院自体が水没するのではという想定があって、かなり熱心に取り組んでいる病院もあります。お恥ずかしいですが、当院を含む尾張地域は想定では地震による大きな被害がないということで、会議に出席したときに温度差を感じるころです。津波や地震による被害だけでなく、台風でもこれだけの被害がありますので、この地区でも台風被害の対策はしっかり取り組むべきだと思います。

【林委員】 DMATの先生は、OTC（一般用医薬品）を有効利用したいということをおっしゃっていました。

【成瀬院長】 薬の備蓄については、必要な量があるのか検討しなければいけないと思います。

【中村会長】 それでは議題1につきましてはこれで終了とさせていただきます。

【橋本課長】 議題2その他といたしまして、例年、年に1度前年度に病院が取

り組んだ内容をご審議いただいておりますが、計画は令和2年度までとなっております。来年度は、新たな中期経営計画を策定していかなければならない時期になりました。策定において取組内容の審議以外でご意見をいただく機会があるかと思っておりますので、よろしくお願ひします。

【中村会長】 他にお聞きになりたいことはありますか。

【高塚副会長】 認知症の問題についてですが、高齢者は特に免許更新のときに様々な試験を受けるのですが、右往左往した経験があります。認知症にかかっている人が近所にたくさんいらっしやって、外出はあまりせずに家で過ごしているようなのですが、以前訪問診療の先生から、もう10年も経てば認知症の良いお薬もできますとか色々な情報を聞いています。今後も認知症患者はどんどん増えていくと思いますが、その対応は何かありますか。

【成瀬院長】 薬剤に関しては、まだ良いものが出ていないのが現状です。最近、高齢者の免許返納が進んでいて、認知症の具合を診察してほしいというご家族や開業医の先生方からの要望も多くあります。

【兒島課長】 当院は、以前はものわすれ外来ということで、認知症の方を診させていただいていたのですが、現在は医師の人員の都合で、脳神経内科で診ています。

【高塚副会長】 近所の奥様も、病院で免許証を返上するように言われて返上されました。車の鍵を目の届くところに置いておくと車を運転してしまうので、見えない所に隠すなど皆さん色々対策していらっしやいます。交通が不便な所に住んでいると、高齢者にとっては生活が難しくなります。

【高塚副会長】 地域包括支援センターでも色々とお話するのですがなかなかうまくいきません。

【成瀬院長】 当院に紹介状なしで受診されると、選定療養費を5,500円いただくことになっていきますので、非常に敷居が高くなっているのが現状だと思います。

【高塚副会長】 奥様が認知症になると、ご主人さんも認知症になりかけているような感じで、いらいらして、受答えも普通ではないように感じられて。いつも喧嘩をしているように感じられます。もう少し症状を緩

和することはできないのでしょうか。

【成瀬院長】 当院にも認知症専門看護師が2名いますが、医師だけでなく介護・看護の力も借りてやっていくのが一番いいと思います。

【安藤委員】 計画を今後立てるにあたり、最低賃金の上昇や働き方改革が進む中で、給与費の「その他」の項目に何が含まれているのでしょうか。一般的には社会保険料が入ってくると思いますが、他には被服費など。その点はいかがですか。「その他」の数値の方が大きいというのはなかなかありませんので。営業外費用についても「その他」の方が大きいですね。

【宮崎補佐】 給与費の中の「その他」の主なものとしては、職員手当です。時間外勤務手当などの手当と福利厚生費、法定福利費、臨時職員の賃金になります。被服費等は経費の中に含まれますので、職員給与費には含まれておりません。

【安藤委員】 残業代が給料の中には入っていないのですね。

【宮崎補佐】 職員手当に含まれる形になります。この表中には「その他」にまとめさせていただいています。

【安藤委員】 給与費が急に増えたとき、残業が多いのか人員が多いのか。人員の増加は数字ではっきりしますので、残業代が増えていれば、業務が圧迫されていることが見えてきますので、給料と残業代をそれぞれ分割して記載する方が経営的に推測しやすいのではないのでしょうか。

【成瀬院長】 分割して記載されていれば時間外勤務が多くなっていることが一目で分かりますね。

【山口委員】 私どもも同じ市の職員という立場で、地域医療を進める上で、日頃から市民病院には色々な面でご協力をいただくとともに、率先してリードしていただいていることに感謝申し上げます。2年ほど前に、優良病院表彰を受けられたことを記憶しておりますが、まさにこの地域をリードしている立場だと思います。その他にも、さくらカウンターの設置など積極的に地域の医療機関との連携の強化を図っていただいていることも、私ども健康福祉の面からもそのようなことが進んでいくことは非常に頼もしい限りです。引き続き、福祉の立場と一緒にあって取り組んでいきたいと思っております。

【横井委員】 私事ですが、今年の7月に父がこちらの病院で診ていただきまして、本当にお世話になりました。その時に、さくらカウンターで、カウンセラーの方に来ていただいて、入院した当初から本当に親身になってお声をかけていただいたというところで、心強く思いました。ただ、入院患者一人一人に対してこれだけのケアをするのは本当に大変なんじゃないかなと、自分がそばにいて思いました。これからも市民の立場で、市民病院は、たくさんの方が利用されますし、安心してまた来ていただけるように、さらに充実していただければと思います。本当にありがとうございます。

【橋本課長】 本日いただいた意見は、経営計画の評価・点検結果としてまとめさせていただきます。

【中村会長】 以上をもちまして本日の議題は全て終了しました。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

上記のとおり令和元年度春日井市民病院事業評価委員会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び副会長が署名する。

令和 2年 3月 23日

会 長 中村 重和

副会長 高塚 徳夫